

今年度の家庭ごみ処理手数料相当額の使い道

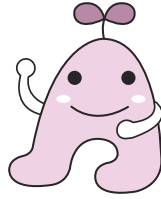
◆家庭ごみ処理手数料収入(歳入)…4億7,038万6千円

↓ 特定財源として直接充当

◆家庭ごみの処理に必要な経費(歳出)

(ごみ収集運営費)…4億7,038万6千円

↓ 相当額の一般財源を環境施策などに活用



◆手数料相当額を活用する事業など(歳出)…4億7,038万6千円

(下表の①+②+③の合計)

◆歳出の内訳

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億3,519万3千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億2,232万3千円
ごみ集積所の設置・修繕、被せネットの購入に対する町内会などへの補助	810万5千円
生ごみ堆肥化容器購入費補助などや食品ロス削減の対策	730万4千円
資源化物の回収を行う町内会などへ奨励金を交付	1,476万2千円
資源化物の祝日収集	1,807万5千円
古紙回収の促進・支援	3,409万8千円
ごみ減量説明会・キャンペーン、ごみ減量イベントなどの開催	1,024万7千円
ごみ集積所のパトロールや不適正排出の現場調査	248万8千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	1,194万9千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、 小売登録事業者への手数料の徴収事務委託やシステムに係る経費	1,529万5千円
③その他の環境対策事業	1億1,287万円
地球温暖化対策	
住宅用太陽光発電システムや木質ペレットストーブなどの導入費補助	2,181万円
再生可能エネルギー(太陽光・風力・地熱・バイオマス)施設のPRと情報発信	284万2千円
電気・ガスなどのエネルギー使用状況の把握と分析による市有施設の効率的な運用	2,182万円
市有4施設での省エネルギー設備の導入による省エネ化と効率的な光熱費削減	831万6千円
環境配慮行動を促し、二酸化炭素削減に取り組む「あきエコどんどんプロジェクト」の実施	624万6千円
将来の環境制約下でも持続可能な社会の実現を図るため、低炭素で温暖化防止に役立つ暮らし方を考える取り組みの推進	22万3千円
地球温暖化対策実行計画の改訂に向けた業務委託など	239万円
緑のカーテン写真コンテスト開催などによる地球温暖化対策の推進	160万4千円
環境負荷の少ない電気自動車などの次世代低公害車を公用車として購入	42万7千円
観光施設・公共施設などの照明灯のLED化	1,407万8千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析業務委託	891万6千円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	2,419万8千円
地域振興基金を充当する事業 (歳入と歳出の差額を後年度の事業に活用するために積み立てていたもの)	9,444万2千円
防犯灯や道路照明灯、公共施設などの照明灯のLED化	3,283万4千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	5,021万9千円
間伐や森林施業への支援、公園の緑地整備による二酸化炭素吸収効果の向上	1,085万2千円
環境負荷の少ないハイブリッド車を公用車として導入	53万7千円



太平川

人にも地球にも
やさしいあきたを
めざして

・一般廃棄物処理施設整備基金積立
・あきエコどんどんプロジェクト
総合環境センターの溶融炉改修などに備えた基金への積み立て。手数料相当額の約2分の1を積み立てます
スマートフォンなどのアプリで登録し、楽しみながら地球温暖化対策に参加してもらった取り組み



表彰式の様子

長年の功績を称え
一般廃棄物収集運搬業優良者を表彰

2月13日に、「平成30年度秋田市一般廃棄物収集運搬業優良者表彰」を行い、下記事業所・団体の9人を表彰しました。

いずれも長年にわたり、市の廃棄物行政に貢献された功績が認められたものです。おめでとうございます。

環境都市推進課 ☎(888)5709

表彰を受けられたかたの事業所と人数

- ▶秋田協同清掃(株)の3人
- ▶(有)協伸産業の3人
- ▶オークス(株)の1人
- ▶(株)河辺清掃社の1人
- ▶(公財)秋田市総合振興公社の1人

夏を涼しく過ごす
『緑のカーテン』
種をお配りします



この夏も、直射日光の当たる窓を植物で覆う「緑のカーテン」で暑さを和らげませんか。4月22日(月)から、下記の施設でアサガオやゴーヤ、フウセンカズラの種を配布しますので、ご自由にお持ち帰りください。種がなくなり次第終了します。

なお、今年度の緑のカーテン写真コンテストは9月下旬に開催予定です。

環境総務課 ☎(888)5704

種を置いている施設…環境総務課(市役所3階)、各市民サービスセンター(中央を除く)、駅東サービスセンター、市立図書館(フォンテ文庫を除く)、八橋・飯島の老人いこいの家、大森山老人と子どもの家、自然科学学習館(アルヴェ4・5階)

今年度の家庭ごみ処理 手数料相当額の使い道

問い合わせ▶環境都市推進課 ☎(888)5706

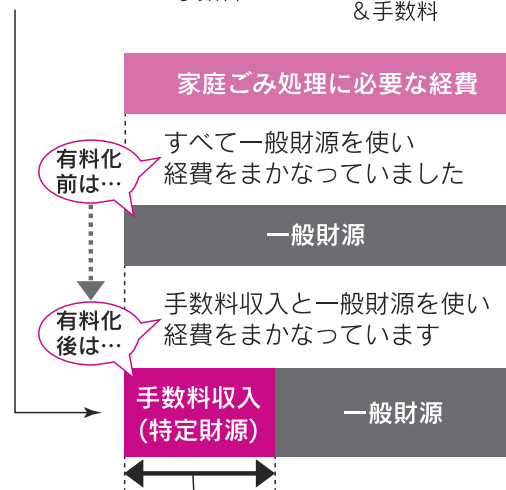
家庭ごみ有料化の目的

さらなるごみ減量とリサイクルを促進し、将来の施設整備の財源や環境施策の充実に図ること

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。全額を家庭ごみの処理に必要な経費に充てています。そして、これと同額の手数料相当額について、使い道の範囲を定め、家庭ごみ減量などの環境対策に活用しています。

今年度は手数料収入を約4億7,000万円と見込んでおり、手数料相当額を活用する事業の内訳は右表のとおりです。詳しくは、市ホームページでもご覧いただけます。◆広報ID番号 1019616

■手数料相当額のイメージ図



この分の一般財源の支出がなくなり、他の事業に使えることに！

↓
手数料相当額(一般財源)
2分の1を施設整備費の積み立て(右表①)に、残りを家庭ごみ減量などの対策事業(右表②)とその他の環境対策事業(右表③)に使っています

この分が今年度は4億7,038万6千円の見込み